

令和 5 年度医療機能分化連携推進事業（回復期施設・設備整備）
実施希望調査票

概要

医療機関名	医療法人仁徳会 周南病院	医療 圏名	周南
整備目的			
地域で担う役割	<ul style="list-style-type: none"> ・周南圏域の 75 歳以上人口は、今後、増加すると予測されており、それに伴い回復期の医療需要が見込まれているが、令和 3 年度病床機能報告結果によると、高度急性期 463 床、急性期 900 床、回復期 695 床、慢性期 1,115 床となっており、回復期病床が極端に少ない状況にある。 ・今後、高齢化が進展する中で、回復期病床の更なる増が必要だが、特に地域の在宅療養患者の急変時に受入れを行うサブアキュート機能を担う病床の整備が必要となる見込みである。 ・そのような圏域の状況の中、当院の強みは在宅医療をベースにした高齢者医療にあり、加えて 2 種類の入院加療を提供できる病棟を持っていることである。 ・当院で展開している在宅医療（訪問診療、訪問看護、訪問リハ）を軸にした介護施設等との連携を強化し、利用者の重症化を防ぐこと、急変時の自病院への入院受入のしくみを作ることで地域における当院としての役割を担っている。 ・具体的には、在宅部門では、機能強化型在宅療養支援病院として、現在 16 施設と個人宅併せて約 20 人の契約先に在宅診療を実施している。なお、医師等の増員により体制が整えば、さらに契約先を増やす予定である。入院部門では、訪問診療契約先からの受入を主体にした「サブアキュート」機能と急性期病院等から受入する「ポストアキュート」機能を有しており、生活の場に戻ることを目標とした『地ケア病床』と入院のままで生活を重視した『医療療養病床』で、一人ひとりの患者様の経過・症状に沿った医療を提供することが可能である。 		
整備の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の医療需要や地域で担う当院の役割を踏まえ、地域包括ケア病床 8 床の増床とリハビリ設備の整備を行うことで、圏域における回復期の更なる充実を図る。また、整備により、患者等の多様なニーズに沿ったうえで、効率的なベッドコントロールを行うことが可能となる。 		

<p>その他 (転換病床数の考え方等)</p>	<p>・病棟の構造上、両病棟に個室・回復室を設けることで、男女の縛りによる融通性が向上する。</p>
<p>整備概要</p>	
<p>事業実施期間</p>	<p>施設 着工：令和5年4月～竣工：令和6年5月 設備 令和6年3月</p>
<p>事業の種別</p>	<p>新築 ・ 増改築 ・ 改修</p>
<p>整備内容</p>	<p>既存病院の隣接地に地上5階建ての新病院を建設する。 【地域包括ケア病棟】 ○新病院 鉄筋コンクリート造5階建て(延べ床面積3,303.56㎡)を建設する。その4階部分全体(629.2㎡)を地域包括ケア病棟(28床)とする。既存病院の20床から新病院28床へ増床する。</p> <p>○4階地域包括ケア病棟の設備 ① 病床 4床病室 6部屋(増設) 2床病室 1部屋(新設) 1床病室 2部屋(新設)</p> <p>2床病室や1床病室を新設することで、患者様の治療効果や満足度向上につながる。また感染管理の充実や、入院患者の対応男女の縛りによる入院困難が改善し融通性が向上する。</p> <p>② ナースステーション・休憩室・デイルーム・リネン庫・倉庫・廊下・トイレについてはスペースを十分に確保し、入院患者の生活環境や職員の働きやすさ向上につながる。</p> <p>③ 病棟内に特浴・個浴を新設し、患者様の生活環境改善につながる。</p> <p>④ 観察室・IC室を新設し、医療の質の向上と患者様ご家族の満足度向上につながる。</p> <p>【機能訓練室】 ○3Fに機能訓練室を整備し、以下の機器を設置することで、当院の機能としての、在宅復帰を目指したADL向上につながる。</p> <p>① トレウオーク・連動式平行棒・リカベントバイクを設置し、起立・歩行に必要なリハビリを実施できる。</p> <p>② ADLキッチン・昇降式リハビリテーブル・高さ調整式キャスターチェアを設置し、より在宅での日常生活につながるリハビリが実施できる。</p> <p>③ フィジオパックを設置し、リハビリを進める中での疼痛軽減改善につながる。</p>
<p>事業効果</p>	<p>・地域包括ケア病床を8床増床するとともに、今までになかった地ケア病棟の個室や観察室の整備により、より入院患者に対応しやすい体制が整い、圏域の課題である回復期病床の充実に寄与することができる。また、リハビリ設備を充実させることにより在宅復帰支援を強化することができる。</p>

事業費

(単位：千円)

	総事業費	うち R5 事業費	うち R6 事業費
施設事業費	1,328,800	1,106,890	221,910
うち回復期病床分	166,066	138,382	27,684
うち機能訓練室分	6,023	6,023	0

病床数

(単位：床)

	転換前	転換後予定	増減
高度急性期	0	0	0
急性期	0	0	0
回復期	20	28	+8
うち地域包括ケア病床	20	28	+8
うち回復期リハ病床	0	0	0
慢性期	36	28	△8
休棟等	0	0	0
計	56	56	0

病床機能報告における病床数

(単位：床)

	R3 病床機能報告	転換後予定	増減
高度急性期	0	0	0
急性期	0	0	0
回復期	20	28	+8
慢性期	36	28	△8
休棟等	0	0	0
計	56	56	0